

事務事業名	甲西子ども祭り運営事業		所属部局	教育委員会		単位番号	12388								
			所属課室	生涯学習課		課長名	新津 岳								
	☐ 実施計画事業		所属担当	青少年担当		担当者名	宮川 聡史								
基本政策	基本計画	個性と文化を育む都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目					
政 策	24	青少年の健全育成	事業区分	01	一般	1	0	4	0	3	0	3	0	1	0
施策	38	健全育成支援体制の強化充実		☐ 国の制度による義務的事業	☐ 施設等維持管理事業										
				☐ 県の制度による義務的事業	☐ 補助金交付事業										
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 15 年度)		法令根拠	☐ 市の制度による義務的事業 ☒ その他の事業											
	☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)			☐ 義務化されている協議会等の負担金											
事業の内容・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 祭りをとおして遊びの中で、異年齢の仲間や地域の大人・子どもの交流を深め、地域の金 額歴史文化や芸能を伝承する事業 地域及び中学生ボランティアが運営する「各種コーナー」を設置し、参加者や世代が違 仲間とのふれあいや交流を深めることを目的としている。 また、工作・竹細工コーナーでは、高齢者及び中学生の指導により、地域の子も達が、 趣向を凝らした様々な工作体験を楽しみながら学ぶことができる企画を展開している。	事業費の主な内訳 (22年度)														
	項目(細節)		金額(千円)		項目(細節)		金額(千円)								
	報償金		5		手数料		48								
	その他報償費		60		その他保険料		15								
	消耗品費		108		その他委託料		400								
	燃料費		4												
賄材料費		150		計		790									

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

活動	
22年度活動実績	子ども祭りの開催(竹細工等の工作コーナー・緑日コーナー・ボランティアによる カレーコーナー等)
23年度活動予定	"
対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
児童・生徒・市民	
意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていのか、どのように変えるのか)	
祭りを通して遊びの中で、異年齢の仲間や地域の大人・子どもの交流を深め、地域 の歴史文化や芸能を伝承する。	
上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
青少年を取り巻く社会環境の実態を把握した上で、地域全体で取り巻くための方策 を検討し、適切に対策を講じる。	

活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 来場者数	人
イ ボランティア等実行者数	人
ウ	
対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 児童・生徒	人
イ 市民	人
ウ	
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 来場者数	人
イ ボランティア等実行者数	人
ウ	
上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 家庭や地域ぐるみの青少年教育について	%
イ	

(2) 事業費・指標の推移		単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	国庫支出金	千円						
		県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	1,004	773	848	310	310	310
	事業費計 (A)		千円	1,004	773	848	310	310	310
	人件費	正規職員従事人数	人	6	6	6	6	6	6
		延べ業務時間	時間	160	160	160	160	160	160
		人件費計 (B)	千円	714	714	634	634	634	634
		(A) + (B)	千円	1,718	1,487	1,482	944	944	944
	活動指標		人	1,500.0	1,500.0	1,500.0	1,500.0	1,500.0	1,500.0
対象指標	人		人	7,193.0	7,000.0	7,000.0	7,000.0	7,000.0	7,000.0
	人		人						
成果指標	人		人	1,500.0	1,500.0	1,500.0	1,500.0	1,500.0	1,500.0
	人		人						
上位成果指標		%	%	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	旧甲西町時代にお祭りを通して世代間の交流から青少年の健全育成を目的として始めました。
事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	対象者(子ども)の減少
事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	特に無し

(4) 改革改善の取り組み状況

改革改善の取り組み実施は?	☒ 取り組みしている 【内容!】 ☐ 取り組みしていない 【理由!】
これまでの改革改善の取り組み状況・経過 (取り組みしていない場合はその理由)	H22年度は予算の大幅な減額に伴い、ボランティア中学生の人数や各コーナーの企画の見直しなどを行い、予算減額前より効果が落ちないように工夫して実施した。 更に見直しを行い、イベント企画から住民の手で行い、飲食の伴わない企画展とする。
H 22年度に実施した改革改善の内容	特に無し

事務事業名	甲西子ども祭り運営事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) 【理由↓】 ☒ 結びついている 【理由↓】 地域を越えて広く近隣地区住民(子ども)に親しまれており、この事業の目的である「青少年健全育成」に大きく寄与している。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	☒ 見直し余地がある 【理由↓】 ☐ 妥当である 【理由↓】 応分な負担をすれば可能であるが、子どもを育てることに伴って市が関与することが妥当である。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☒ 見直し余地がある 【理由↓】 ☐ 適切である 【理由↓】 各地区で実施しているものを一元化	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
有効性 評価	成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☒ 向上余地がある 【理由↓】 ☐ 向上余地がない 【理由↓】 現在は地区毎独自に事業を進めているが、統合することにより事務事業の効率化が図れる。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることができるか？	☒ 類似事務事業がある (類似する事務事業の名称を記入↓) ☒ 統合・連携ができる 【理由と具体案↓】 ☐ 統合・連携ができない 【理由↓】 地域を越えて広く住民に親しまれているものが実現できれば可能 ☐ 類似事務事業がない	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり 【理由と影響の内容↓】 少子高齢化の中、核家族化が多い社会で世代間交流は必要である。	☐ 休止・廃止ができる ☐ 休止・廃止できない 【理由↓】
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある 【理由・具体案↓】 ☒ 削減余地がない 【理由↓】 すでに今年度より委託料を大幅に削減している	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☒ 削減余地がある 【理由・具体案↓】 ☐ 削減余地がない 【理由↓】 外部委託することは可能である(すでに甲西ボランティアや甲西中学校の生徒に協力してもらっている)	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
公平性 評価	受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある 【理由・具体案↓】 ☒ 公平・公正である 【理由↓】 現在は甲西地区の全小中学校にチラシを配布しており、また、広報でも情報を掲載しているので公平である。 (ただし、今後、類似事業と統合していくのであれば)更に広く市内全域から集客していく必要がある。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
目的妥当性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり 効率性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり 公平性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり	「お祭り」事業は八田を除く4地区は各地区民会議主催であり、「甲西子ども祭り」のみ直営事業である。「お祭り」事業に関しては2通りの考え方があり。 1. 直営である「甲西子ども祭り」を「南アルプス子ども祭り」として市内全域を対象としたお祭りとする。ただしその場合は地区民会議主催のお祭りは発展的解消とする(「見直し」根拠)。 2. 地域性を考慮して従来どおり「お祭り」は地区民会議で主催する(「適切」→「現状維持」根拠)。 従来からの流れから2とする。なお甲西子ども祭りは予算見直しして地区民会議主催に切り替える。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可 ☐ 廃止(目的妥当性、 、 の結果) ☒ 事業統合・連携(有効性 の結果) ☒ 公平性改善(公平性 の結果) ☐ 休止(目的妥当性、 、 の結果) ☐ 成果向上(有効性 の結果) ☐ 現状維持(全評価項目で適切) ☒ 必要性検討(目的妥当性、 、 の結果) ☐ コスト削減(効率性、 の結果) (2) 改革改善案について 「甲西子ども祭り」の地区民会議主催への変更 更に見直しを行い、イベント企画から住民の手で行い、飲食の伴わない企画展とする。		(3) 改革・改善による方向性 <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☒</td><td>☐</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table> 廃止・休止の場合は記入不要				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☒	☐		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☐	☐																				
	維持	☒	☐																					
	低下	☐																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 カウンセラー・地区民会議との協議。生涯学習の公民館主事の協力を検討する。		(5) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																						